

研究部会活動報告

研究部会長 荻原 貞正

1. 公開法律シンポジウム「郵政民営化でこれから日本はどのような」(第15回)の開催

今回は郵政民営化に関係した問題を取り上げた。

まず、本大学法学部法律学科専任講師松原孝明氏より郵政民営化が実現した場合におけるメリットとデメリットについて説明がなされ、次に、郵政民営化賛成派の立場から参議院議員大仁田厚氏より民営化による経済の更なる活性化が期待できると主張され、これに対して、反対派の立場から紺谷典子氏より郵政民営化による郵便業務の質的低下や切捨て(主に過疎地に於いて、それが顕著であること)が主張された。その後、木村晋介弁護士も加わって四者による活発な議論が合わされ、最後に会場の聴衆との間で質疑応答が行われ、それらを踏まえて、司会の木村晋介弁護士が双方の意見を取りまとめてシンポジウムは閉会となった。

出席者は、学外の人を含めて約200人程度であった。

シンポジウムの開催日時、場所、テーマおよび講師陣は下記の通りである。

日 時：2005年12月12日(月) 14時30分 板橋校舎1号館10301教室

テーマ：「郵政民営化でこれから日本はどのような」

講 師：木村晋介氏(弁護士)

紺谷典子氏(国民新党副代表・エコノミスト)

大仁田厚氏(参議院議員)

松原孝明氏(本学法学部法律学科専任講師)

今回も、大東文化大学法学部法政学会の後援を頂いた。

2. 本年度に開催された研究会は下記の通りである

第23回 (2005年度 第1回) 5月25日(水) 午後3時より

e-Learning 教材開発研究班報告

- ・授業におけるIT教材使用の事例紹介 瓜生洋一教授
- ・パワーポイントを利用した授業教材 松原孝明講師
- ・大東大サーバーの「Yドライブによる課題と提出」の事例紹介 野口昌宏教授
- ・大東大の「Yドライブ」の解説 学園情報センター 岩倉 学氏

第24回 (2005年 第2回) 11月30日(水) 午後3時より

現代人権研究班報告

「多文化主義と公共性問題」 石山 文彦 教授